

P17～21 分抜粋

# 第 3 次朝来市総合計画 基本構想等

(たたき台)

2021. 6. 4 現在

朝 来 市

## 4 ありたいまちの姿

---

将来像を実現していくために、8年後のまちの姿として、次の6つのまちの姿を目指します。

### (1) 「やりたい」につながる多様な学びで、未来をつくる

#### 「人」を育む

子どもから大人まで様々な学びの場をつくることにより、市民一人一人の主体性やシビックプライドを育みます。また、多様な価値観・考え方等を互いに認め合うことで、まちも楽しくする自分らしい生き生きとした活動（経済活動含む）をつくる人材が育まれるまちを目指します。

### (2) 人と自然が共生しながら地域で循環する産業を確立する

人の暮らしや営みとともにある自然との共生を図りながら、朝来市が持つ資源・魅力と市外の活力をつなげ、時代にあわせて進化し、内発的な経済力を高め、地域で循環する産業が確立されたまちを目指します。

### (3) 多様なつながり・交流を育み、地域力をより高める

人と人のつながり・交流を育むことで様々な活動につなげ、多様な人が参画する地域コミュニティの充実を図るとともに、移住定住の推進や関係人口の創出等の新たな力により、地域力がさらに高まっているまちを目指します。

### (4) 誰もが居場所や役割を持ち、健幸で心豊かな暮らしを

#### 実感できる

世代等を超えて、市民一人一人が地域とつながり、誰もが地域の中で居場所や役割を持つことで、地域の人々に囲まれ安心した子育てや暮らしが実現できるとともに、市民一人一人が生きがいを感じながら\*健幸で心豊かな暮らしを実現できるまちを目指します。

### (5) 市民の暮らしを支える安全・安心な都市基盤を持続する

市民の暮らしを支える都市基盤の持続可能な維持管理・運営を図ります。また、地域防災力の強化、公共交通の確保等により、誰もが地域の中で安全・安心に暮らせるまちを目指します。

## (6) まちの動きや情報を戦略的につなぎ、効率的で健全な

### 行財政運営を実現する

市民との対話を大切にするとともに、まちの動きや情報を市民と共有することで、市民自治のまちづくりをさらに推進します。また、持続可能で自律した自治体運営を推進するため、効率的で健全な行財政運営や市民とともにある、市民に信頼される職員・市役所を目指します。

## 5 政策指標と人口指標

第3次総合計画では、この計画に基づいて実施される様々な取組が、「将来像」及び「ありたいまちの姿」の実現を目指して実施され、かつ明確な評価検証が行われるよう、政策指標と人口指標を次の通り設定します。

### (1) 政策指標

政策指標は、朝来市民の幸福度（どの程度幸せを感じているか）に加え、朝来市民の幸福度に影響を与える要素として、ありたいまちの姿（市民一人一人の姿、まちの姿）の指標を設定します。

朝来市民の幸福度： Asago Well-Being Indicator

指標	指標値
幸福度（どの程度幸せを感じているか）	令和3（2021）年度 対比4%増

朝来市民の幸福度に影響を与える要素

指標		指標値	
市民一人一人の姿	自己実現と成長	やりたいこと（趣味・学び・活動・仕事等）がある	令和3（2021）年度 対比4%増
		やりたいことに向けてチャレンジ（準備・実行等）している	令和3（2021）年度 対比4%増
		暮らしの中で多様な学びや成長がある	令和3（2021）年度 対比4%増
	人や社会とのつながり	自分のことを大切に思ってくれる人たちがいる	令和3（2021）年度 対比4%増
		頼れる人（家族・友人・地域の人等）がいる	令和3（2021）年度 対比4%増
		自分の居場所や役割がある（家庭・地域・職場等）	令和3（2021）年度 対比4%増

まちの姿	ありたいまちの姿1（「やりたい」につながる多様な学びで、未来をつくる「人」を育む）満足度	令和3（2021）年度 対比4％増
	ありたいまちの姿2（人と自然が共生しながら地域で循環する産業を確立する）満足度	令和3（2021）年度 対比4％増
	ありたいまちの姿3（多様なつながり・交流を育み、地域力をより高める）満足度	令和3（2021）年度 対比4％増
	ありたいまちの姿4（誰もが居場所や役割を持ち、健幸で心豊かなくらしを実感できる）満足度	令和3（2021）年度 対比4％増
	ありたいまちの姿5（市民の暮らしを支える安全・安心な都市基盤を維持する）満足度	令和3（2021）年度 対比4％増
	ありたいまちの姿6（まちの動きや情報を戦略的につなぎ、効率的で健全な行財政運営を実感する）満足度	令和3（2021）年度 対比4％増

## （2）人口指標

第2次総合計画後期基本計画策定時に行った将来推計人口に基づき、令和32（2050）年の人口を20,000人に維持することを目指し、第3次総合計画期間の終了時である令和11（2029）年時点で26,300人を維持することを人口指標として設定します。



## （3）将来像・ありたいまちの姿と政策指標・人口指標の関係性

人と人のつながりである\*社会関係資本（ソーシャルキャピタル）は、新たな動きを育み、学びや楽しさ等、市民一人一人の暮らしを豊かにするだけでなく、地域での暮らしの安心感、地域づくりの活力、さらに、地域経済の潤い等をもたらし、「ありたいまちの姿」の実現につながるとともに、人と人とのつながりをさらに強固にします。その結果、朝来市に暮らす市民一人一人が、自己実現や成長、人や社会とのつながりを感じ、幸せを実感することにつながります。その幸せが次なるまちの動きをつくり、新たな幸せを創出する幸せの循環を生み出し、「将来像」の実現につながります。

また、そのことが、朝来市に住み続けたい、朝来市に住んでみたいと感じることにもつながり、人口減少の抑制につながります。

